

## 27歳のロッシェニの肖像（デュプレの原画によるバイアーの銅版画）

（水谷彰良コレクションより）

### 27歳のロッシェニの肖像（デュプレの原画によるバイアーの銅版画）

これは1819年頃にパリでルイ・デュプレ (Louis Dupré, 1789-1837) の描いた肖像画を原画とするレーオポルト・バイアー (Leopold Beyer, 1784-? [c.1870]) 作の銅版画である（それゆえ27歳のロッシェニの肖像となる）。デュプレの原画に基づく銅版画のヴァリエーションはさまざまな彫版家によって作られ、ロッシェニのヴィーン訪問（1822年）とパリ・ロンドン訪問（1823年）の折に広く流布した。

筆者所蔵は1823年11月出版のスタンダール『ロッシェニ伝』第1部の扉絵に挿入された銅版画で、サイズは19.8×12 cm。肖像の真下に「Dessiné et Gravé d'après Léopold Beyer, par A. Tardieu.」、続いて「JOACHIM ROSSINI / Né à Pesaro le 29 Février 1792.」、最下部に「A Paris chez Ambroise Tardieu rue du Battoir N°12.」と刻まれている。



27歳のロッシェニの肖像（デュプレの原画によるバイアーの銅版画）